

千葉県介護福祉士会 20周年記念式典



六月二一日(金)、京葉銀行文化プラザにおいて「千葉県介護福祉士会 二〇周年記念式典」が行われました。

当日は雨天にも関わらず、多くの会員、関係団体、そして多くの学生の出席がありました。

テーマは「飛躍」

「かいこ(快互)・新たな時代」

「快互(お互いが快く)」のために、個人の尊重・根拠のある介護をするために、私たち介護福祉士は何をしなければならぬのか。介護福祉士は変わらなければならぬのか。新しい一歩を一緒に踏み出そう。という意味を込めました。

基調講演は、聖隷クリストファー大学 特任教授の太田 貞司氏による「地域包括ケアシステムと介護福祉士の今後を考える」。そして、記念公演は、いすみ鉄道株式会社社長の鳥塚 亮氏による「チャレンジする心」のテーマでご講演いただきました。(紹介は二頁・三頁)

記念式典では、千葉県介護福祉士会の設立から今日まで、二〇年間の活動を継続してこられた山本会長をはじめ、一四名の方々が表彰されました。



千葉県介護福祉士会「一〇年のあゆみ」(平成一五年六月〜二五年六月)では、これまでの会の活動についてをスライドで紹介しました。

この一〇年の間には、会長の交代や関東甲信越ブロック大会、一般社団法人化、「快互の教本」出版など、様々なことがありました。



会員の皆様のお力添えで、千葉県介護福祉士会が二〇周年を迎えられたことを、心より感謝いたします。

今後、介護福祉士会が更に「飛躍」できるよう、ご協力をお願いいたします。

基調講演

「地域包括ケアシステムと
介護福祉士の今後を考える」

聖隷クリストファー大学
特任教授
太田 貞司 氏

「地域包括ケアシステムと介護福祉士」
～認定介護福祉士(仮称)創設で～

新たな飛躍を～

一九九〇年に市原の帝京平成短期大学に赴任し、介護福祉士の教育を始めさせていただきました。その当時のお世話になった方々が、今日たくさん来ています。

現在、認定介護福祉士の責任者をしていまずので、様々な関係者と議論をしているところ。そのことも踏まえながら、今課題になっている「地域包括ケア」について、介護福祉士の役割・これからの大きな飛躍を遂げるであろう未来を、ご一緒に考えていただければと思います。

認定介護福祉士は、介護福祉士のリーダーにしたい

現在、一〇〇万人以上の方々がある資格者として登録されているわけですが、リーダーが育つ土壌ができてきているということをごひお伝えしたい。

「地域包括ケアシステム」は一言でいえば、しっかりした介護職が地域で育つことができ

なければ実現しないことであると思っております。

ますます介護支援の役割は大きくなっていきます。

介護福祉士誕生後、利用者の日常生活の何が変わったのか？

「日常生活を自分で営むことを支援する」日常生活を支援するということよりも、自分で営むことを支援することではないでしょうか。

これは介護福祉士が生まれる前にもありましたが、介護福祉士が育つことで、大きく変わりました。

「すべての国民は、個人として尊重される

【憲法第一三条】
これが介護の現場に導入され、変わってきました。

世話から自立支援

一九九〇年代初頭

介護福祉士が生まれた直後

利用者の後ろにそと寄り添う

一九八〇年代初頭

多くのところははまだ、老人ホームが地域の行事に出ることはなかった

一九七〇年代初頭

ベッドにいる人を連れだすのに、ベッドごと移動した。

介護福祉士になってから何が変わったかというところ、「移動」についてしっかり考えるということ、何が専門性なのかを。

介護感はずっと半人前でした。それを

大きく変えて、定着させたのは介護福祉士です。

自由を得た生活をどのように営んでいくのか

ベッド上⇓部屋・施設内⇓地域社会
これこそが「地域包括ケア」だと思っております。施設であっても、地域と関係を持つ。できるだけ地域の中で暮らす。

身体介護(介護)⇓利用者の関係性を支援する⇓家族、地域社会の関係性
こういうことをどうやって若い人たちに伝えていくのが、リーダーとしての役割です。

地域包括ケアシステムの構築

ニーズに応じた住宅が提供されることを基本としたうえで、生活上の安全・安心・健康を確保するために、医療や介護、予防のみならず、福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが日常生活の場(日常生活圏域)で適切に提供できるような地域での体制

介護福祉士の役割は大きい。しかも、職場を作っていく・介護チームを作っていくリーダー、他職種との連携をリードできるリーダーが必要です(他職種に意見が言える)。

地域を変える・変えられる介護福祉士と一緒に協働で仕事をする。あと一〇年で、それが普通になってきます。

地域型介護福祉士

地域の暮らしの支える介護支援

介護福祉の生活支援・身近な生活支援者

介護福祉実践の蓄積の中の、

すでに「地域型」介護福祉士の芽が

介護から、子育て・働く世代を支える地域を創る時代に

地域の身近な生活支援者の姿を示す

地域型介護福祉士の芽

(宮城県の特養の施設長の発言から)

地域にオープンな特養は離職率が低い

地域の人が介護職の仕事をよく知っている

介護職が地域の人たちの生活(暮らし)を

理解している

介護職が地域の人たちの生活(暮らし)を

支えているという認識、自覚がある

※このような職場の介護リーダーはどんな人なのでしょうか？

芽を持っている人はたくさんいます。

次のリーダーを育てるために、一緒に考えましょう。

記念講演

「チャレンジする心」

いすみ鉄道株式会社

社長 鳥塚 亮 氏

いすみ鉄道は菜の花畑を通る鉄道です。



チャレンジの一番大事なところは、今までと違ったやり方をする事です。今までと同じやり方をして違う答えを出すことはできないんです。

違う答えがほしければ、違うことをやるしかないんです。

地元の人たちが鉄道を残したいわけ

ほとんどの人が物心ついた頃からあるんです。

風景の一つとなっているんです。

乗らなくても、あると安心するんです。

昔からの風景を守りたいんです。

その郷土愛に添えてあげたいと思っただんです。

地元・子供たちに楽しんでもらいたい

子供たちは大きくなるんです。大きくなった

ときに、彼らは覚えてはいるはずなんです。当時の頑張

った大人たちがいたんだと聞くはずなんです。

そうやって次の時代に繋いでいけるんです。

どうやって次々の時代に繋いでいけるのか。

子供たちが明日を創っていくんです。

なぜ会社を辞めてまでいすみ鉄道に真剣なのか

子供の頃に来ているから。

その子供の頃に来ている、思い出のローカル線

が無くなるという現実。

無くなるのは今生きている大人の責任。

それは、いらなくなったから捨てるではなく、

代々から受け継がれてきたものをどうやって次の

の世代に繋げていくのかを考えていくこと。

どうやって残せるかは、我々が考えていかな

なくては行けない。

会社なんだけど、一つの会社だけではないんで

す。地域の中の一つなんです。鉄道だけやろうと

思っても駄目なんです。

もしよろしければ、あんまり期待をしないとい

うお約束でよければ、いすみ鉄道に来てみてく

ださい。

人間は期待をすると不幸になるものです。期

待をしなければ必ず幸せになります。

研修報告

○六月二十七日(木)
「フットセラピー&交流会」

千頭井久子先生をお迎えし、君津・安房ブロックの第一回目の研修会が開催されました。

当日は二時間以上かけて参加した会員もあり、交流会も含めて約四時間、足操術について熱心に取り組みました。足裏には全身のツボがあり、刺激を与えることで健康な体を取り戻せるとのことです、まずは自分で行う足操術を教えてくださいいただき、血流の良くなった足の色と施術していない足の色の違いに、皆びっくりしていました。次に二人ひと組での、他人に行う足操術では、あまりの気持ちよさにうっとり。先生のユーモアを交えた朗らかな指導に、研修が終わるころには身も心もすっきり、ほかほかとなりました。美味しいお弁当を食べながらの交流会では、今夢中になっていることや、今日学んだことを、家族や利用者に試して喜んでいただきたい、参加してよかったと嬉しい感想が聞かれ、次回の研修を楽しみに散会しました。

(担当者コメント)

○七月一日(日)

「講師養成研修 実技編」

今まで、年に一回ぐらいの実技講習に参加していたが、講師という立場だと、まったく今までの受け身の研修とは違っていた。普段やっているリネンの張り方が、指導する立場では通用しないことを知った。手順の根拠を加えれば、理屈に沿った介護が進められると思った。根拠を伝えることの大切さ。実践でいかに自分ペースで行っていたかと思ひ、その一つ一つの行動の根拠があるということを確認できた。伝える立場となると、相手に上手に伝えることの難しさ。理解していなければ伝えられない。勉強が足りないと思った。自分の不足部分を学び、できるようにしていく必要を思い知らされた研修だった。とても緊張したが、楽しかった。



7月21日(日)
「センター方式から計画作成までの実践」研修会

○七月二一日(日)

「センター方式から計画作成までの実践」

今後増えていくであろう認知症について、総務省は、今後六五歳以上の四人に一人が認知症であり、その予備軍となる計算を発表し、認知症は誰でもなる病気と言えます。

午前中の講義では、認知症の理解とセンター方式の説明がありました。認知症を発症し、混乱状態の中にいる方をどうささえていくかにおいて、いくつかキーワードになる言葉がありました。根拠となることを見出す。本人主体。パーソンセンタード・ケア。自分の気持ちを発している言葉に注目する。非言語からの情報収集等々。

センター方式はA5Eまでのシートがあります。午後からは、持参した事前課題を基に、カンファレンスシートの記入から居室サービス計画作成過程をグループに分かれて学びあいました。センター方式を実践の場に取り入れて活用しているところも多くなり、活発なグループワークになりました。このシートにおいては、二八項目のアセスメント要項と同じ扱いと認められるとの話もありました。また、質問として出たICF(国際生活機能分類)との比較についても変わらないという根拠を示していただきました。

センター方式については、講師から少人数でも勉強会に向いてもよいという話もありました。まず、実践の場で取り組んでみることに思いました。

(担当者コメント)

研修案内



○東部ブロック研修会
「施設見学&研修会」

日 時：九月二十八日(土) 九時三〇分～
場 所：介護老人保健施設 杜の街
※九時三〇分 「杜の街」駐車場集合
参加費：会員・準会員 一五〇〇円
一般 三〇〇〇円
定 員：二〇名

○第二回 在宅部会・施設部会合同研修会
「医療依存度の高い利用者の理解」
～利用者理解を深めた上での
介護方法について学ぶ～

日 時：十一月一日(日) 一〇時～
場 所：社会福祉センター 研修室
講 師：デイサービスなごみの家
認知症看護認定看護師
久保 智巳 氏

※九月八日開催予定でしたが、日程が変更となりました。大変申し訳ありません。

○第三回 在宅部会・施設部会合同研修会

「身近になってきた成年後見制度」について
～認知症高齢者が増加する中、
判断能力の不十分な方々の暮らしと
財産を守る制度について学ぶ～
日 時：十一月五日(日) 一〇時～
場 所：社会福祉センター 研修室
講 師：朽名社会福祉事務所
社会福祉士・精神保健福祉士
くつな たかこ
氏

○講師養成研修(入門編)

日 時：十一月二十七日(日) 九時三〇分～
場 所：社会福祉センター 五階 研修室
参加費：会員 二〇〇〇円
一般 五〇〇〇円

内 容：

- 一. 講師活動の意義・目的
 - 二. 「伝える」ということ
 - 三. 介護福祉士養成新カリキュラム
 - 四. シラバス作成(講義と演習)
- 締 切：十一月二十一日(月)
※参加要件

- ①当該年度の会費を納入していること
- ②介護福祉士資格取得後、三年以上の実務経験があること、もしくは介護福祉士資格取得後、三年以上の教員経験があること

○講師養成研修(実践編)

日 時：十一月二十七日(日) 九時三〇分～
場 所：社会福祉センター 四階 第二会議室
※受付は九時～ 五階 研修室
参加費：実践編(一教科) 二〇〇〇円
(三教科) 五〇〇〇円

内 容：

人間関係とコミュニケーション
発達と老化の理解
介護過程
持ち物：入門編の資料
受講証

※参加要件

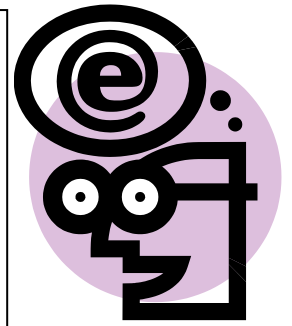
- ①当該年度の会費を納入していること
- ②入門編受講終了の方

○東部ブロック研修会

「介護キャリア段位制度について」
「かいこの教本」を使った実技研修
日 時：十二月一日(日) 一一時～
場 所：成東文化会館のぎくプラザ
講 師：淑徳短期大学教授
亀山 幸吉 氏

千葉県介護福祉士会

飯島 徳子 他



福祉・介護情報

認知症サポーター

厚生労働省では、「認知症を知り地域をつくる一〇カ年」として、様々なキャンペーンを行っています。

二〇〇四年一月に「痴呆」という用語を「認知症」に改めたことなどを契機に、今後多くの人々に認知症が正しく理解され、また認知症の方が安心して暮らせる町がつくられていくよう、構想されています。

① 認知症サポーター一〇〇万人
キャラバン

② 「認知症でもだいじょうぶ町づくり」
キャンペーン

③ 認知症の人「本人ネットワーク支援」

④ 認知症の人や家族の力を活かした
ケアマネジメントの推進
となっています。

認知症サポーターキャラバン

「認知症サポーターキャラバン」は、「認知症サポーター」を全国で養成し、

全国が認知症になっても安心して暮らせるまちになることを目指しています。

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者です。

認知症サポーターに期待されること

- ① 認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない
- ② 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る
- ③ 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する
- ④ 地域でできることを探し、相互扶助・協力・連携、ネットワークをつくる
- ⑤ まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍する

認知症サポーター養成講座は各地域で開催されています。現在、三〇〇万人を超えるサポーターが誕生しています。

認知症になっても安心して暮らせる町づくり

一〇〇人会議

各界有識者、地域の暮らしを支える生活圏にある企業・団体、保健・医療・福祉団体などから成り立っています。

会議の目的は、みんなで認知症の人とその家族を支え、見守り、ともに生きる地域を築いていく運動を推進することです。

この「認知症になっても安心して暮らせる町づくり一〇〇人会議」に支援され、各キャンペーンが行われています。(厚生労働省ホームページ)

ちよつとだけ「これ、知って得？」 「職場における腰痛予防対策指針」

厚生労働省では、六月に「職場における腰痛予防対策指針」を改訂したと発表がありました。

この指針では、適用対象を福祉・医療分野における介護・看護作業全般に広げるとともに、腰に負担の少ない介護介助法などを加えて改訂を行っています。

介護・看護の場面では、腰痛は「仕方がない」「職業病」とされている現状もあります。この指針は事業者へ対策を講じるよう指導しています。

- ① 腰痛の発生に関与する要因の把握
- ② リスクの評価(見積もり)
- ③ リスクの回避・低減措置の検討
及び実施
- ④ リスクの再評価、対策の見直し
及び実施継続

③の中で、「作業姿勢・動作の見直し」という項目があります。そこでは、「対象者の抱上げは、労働者の腰部に著しく負担がかかることから、全介助の必要な対象者には、リフト等を積極的に使用することとし、原則として人力による人の抱上げは行わないこと」とあります。福祉器具を使用すること、人力で抱え上げざるを得ない場合は適切な姿勢で身長差の少ない二人以上で行うことなど、細かく記述されています。

また、「介護作業者の腰痛予防対策チェックリスト」もあり、各職場での腰痛予防を推進しています。
自身の腰を守るために、ぜひ読んでみては？

晴れときどき にじ おきらく きろく



誰が見てもすぐわかる！
「ADL表」

自分が休みを取っている間に、新規の利用者が入って(通って)いた。ということがありますよね。

皆さんは勤務に入る前、どのように情報収集をしていますか？

新規の方にご挨拶するのはもちろんですが、その前にカルテや診療情報、サマリーなどを確認すると思います。

様々な書類を確認するには時間がかかります。勤務開始前に全てを見て把握するのは難しいです。

ということで、「ADL表」の紹介です。

この「ADL表」は、利用当日に受け入れ担当となった職員が様々な記録や、本人・家族から聞き取りをした内容を、チェック方式(○つけ)で記入していきます。

表面:主に利用者のADL全般 個別の援助が必要な場合は『備考』欄に記入する

年	月	日	更新	生年月日	歳	様																					
介護度: (有効期限~平成 年 月 日) 自立度: 認知度: 感染症: 有 () ・ 無 禁忌: ()																											
SW	【身体状況】 1) 主な疾病 () 2) 麻痺 有 () 無 () 3) 拘縮 有 () 無 () 4) 疼痛 有 () 無 () 5) 褥創 有 () 無 () 6) 掻痒感 有 () 無 ()																										
OT	【入浴・着脱・清潔】 1) 入浴 一般浴・車椅子浴・特浴・ユニット 2) 入浴時の介助 自立・見守り・一部介助・全介助 3) クリーニングの利用 有 () ・ 無 () 4) 上衣類更衣 (自立・見守り・一部介助・全介助) 5) 下衣類更衣 (自立・見守り・一部介助・全介助)																										
NS	【基本動作】 1) 移動 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>歩行</td> <td>独歩</td> <td>T字杖</td> <td>4点杖</td> <td>サークル</td> <td>シルバーカー</td> <td>ピックアップ</td> </tr> <tr> <td>車椅子</td> <td>自操</td> <td>介助</td> <td>フットレスト</td> <td>右外し</td> <td>左外し</td> <td>リクライニング</td> </tr> <tr> <td>ベット</td> <td>点検</td> <td>センサーマット</td> <td>エアマット</td> <td>サーモマット</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						歩行	独歩	T字杖	4点杖	サークル	シルバーカー	ピックアップ	車椅子	自操	介助	フットレスト	右外し	左外し	リクライニング	ベット	点検	センサーマット	エアマット	サーモマット		
歩行	独歩	T字杖	4点杖	サークル	シルバーカー	ピックアップ																					
車椅子	自操	介助	フットレスト	右外し	左外し	リクライニング																					
ベット	点検	センサーマット	エアマット	サーモマット																							
CW	2) 寝返り (自立・見守り・一部介助・全介助) 3) 起き上がり (自立・見守り・一部介助・全介助) 4) 端座位 (自立・見守り・一部介助・全介助) 5) 立ち上がり (自立・見守り・一部介助・全介助) 6) 立位 (自立・見守り・一部介助・全介助) 7) 移乗 (自立・見守り・一部介助・全介助)																										
様	【排泄】 1) 失禁 有 (尿・便) ・ 無 尿意 有 ・ 無 便意 有 ・ 無 2) 誘導時間: 3) 休憩時間: 4) 体交時間: 5) 動作 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>日中</td> <td>自立見守り介助</td> <td>用具: オムツ:</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>自立見守り介助</td> <td>用具: オムツ:</td> </tr> </table>						日中	自立見守り介助	用具: オムツ:	夜間	自立見守り介助	用具: オムツ:															
日中	自立見守り介助	用具: オムツ:																									
夜間	自立見守り介助	用具: オムツ:																									
	【食事】 1) 主食 内容 常食・軟飯・全粥・分粥・経管栄養 形態 おにぎり・ペースト・パン(朝・昼・夕) 2) 副食 内容 常食・軟食・流動・分菜 形態 一口大・トロミ・ネザロ・ミキサー・ペースト 3) 養歯 有 ・ 無 総養歯 上 ・ 下 部分養歯 上 ・ 下 4) 制限食 () 5) 禁止食品 () 6) おやつ 通常 ・ 柔らか 7) 食事摂取 (自立・見守り・一部介助・全介助) 8) 自働具 () 9) 配膳時間 通常 ・ 早出し 10) ムセ 有 ・ 無 トロミ・吸飲み・ () 11) 口腔ケア (自立・見守り・一部介助・全介助)																										
	【備考】																										

この表を見れば、短時間で援助の内容がわかりますし、その情報が「いつも」なのか「波がある」のか、「違う」のかを観察しやすくなります。

情報と違っていれば、カンファレンスで報告していくことで毎回新しい情報に変わっていくし、次に出勤してくる職員にも正しい報告ができるわけです。

利用者の情報は、ADLだけではありません。利用者本人のニーズに「家族のニーズも重要です。」どのように暮らしていきたいかをしっかり記入して、それに沿った援助をすることが大切です。

この「ADL表」は、カンファレンスで担当が主導をとって定期的に見直しをします。日々変化する利用者の状況や家族の状況を適宜更新する仕組みになっています。

裏面右側は罫線欄になっていて、表には書ききれない内容を記入するようになっています。

他の階に移るようになった場合でも、ADL表に沿って細かく書き入れることで申し送りを短縮できます。また、緊急時のサマリーとしても使用できるようになっています。

正しい情報把握は、利用者その日の生活に直接影響します。情報を基に、今日は「できるけどやらない」のか「具合が悪くてできない」のか、他の原因があるのかなど、プロとしての判断を。

【コミュニケーション】

- 1) 視力 普通・1メートルが見える・目の前が見える・ほとんど見えない・判断不可
- 2) 聴力 普通・普通の声や叫び・かなり大きな声なら・ほとんど聞こえない・判断不可
- 3) 意思の伝達 できる・時々できる・ほとんどできない・できない
- 4) 理解力 あり・充分ではないがある・たまにあり・なし
- 5) 記憶力 あり・充分ではないがある・たまにあり・なし
- 6) 指示への反応 通じる・充分ではないがある・たまに通じる・通じない
- 7) BPSD ()

【介護ニーズ・生活歴】

本人	願い・要望・意欲	
	好み(活動・趣味)	
	不安・心配事	
	習慣	
	生活歴・職歴	
介護者	願い・要望	
	健康状態	
	介護環境	
	介護意欲と負担感	

【今後の方針】 在宅・施設(申請済施設名))・検討中

- 【事故報告】
- 1) 連絡先: 緊急連絡先 ①・②・③
 - 2) 軽微な事故の連絡 当日・面会時

【各連絡先】

住所	(TEL)
緊急連絡先 ①	様 続柄() (TEL)
緊急連絡先 ②	様 続柄() (TEL)
緊急連絡先 ③	様 続柄() (TEL)

一般社団法人
千葉県介護福祉士会

〒260-0026
千葉市中央区千葉港 4-3
千葉県社会福祉センター
3階

TEL:
043-248-1451

FAX:
043-248-1515

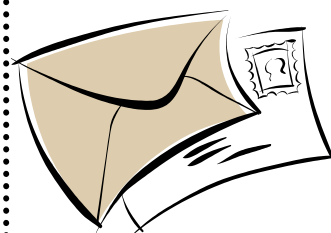
E-MAIL:
Kai5niji@poem.ocn.ne.jp

編集: 広報委員会・広報委員長

知りたい情報等がありましたら、
上記メールアドレスに お知らせ
ください!

会員数(七六四名)九月一日 現在

東葛ブロック	一六八名
千葉ブロック	一五七名
君津・安房ブロック	九二名
東部ブロック	七五名
南部ブロック	六九名
北総ブロック	二〇三名



事務局だより

理事会報告

七月二二日(日)
出席者 一三名
委任状 六名

○住所の変更がありましたら、
変更届(会員の葉に添付されています)に記入をして、
事務局へ送って下さい。

※クロナメール便を利用しています。
郵便局への住所変更では届きません



編集後記

敬老会のシーズンです。皆さんのところでは、どのようなお祝いをするのでしょうか？
きっとそれぞれの歳のお祝いをするとは思いますが、長寿の方ってどこから「長寿」というのでしょうか。
我が施設では、80歳代は当たり前、90歳代100歳代がたっくさん利用されています(若い方もいらっし
やいますが)。どの方もお元気ですが、・・・超高齢化、本当ですよ。私も斯くありがたい……。 (岩)